



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 テイカ株式会社

コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名木田 正男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,004	△0.5	1,938	39.5	2,003	41.0	1,297	43.5
26年3月期第2四半期	18,103	2.5	1,389	△16.7	1,421	△15.5	903	△10.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,761百万円 (3.4%) 26年3月期第2四半期 1,703百万円 (94.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	26.14	—
26年3月期第2四半期	18.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	44,760	31,329	31,329	69.7	628.39	
26年3月期	42,634	30,131	30,131	70.3	604.33	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 31,179百万円 26年3月期 29,990百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	2.2	3,400	28.9	3,400	26.8	2,100	26.0	42.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	51,428,828 株	26年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,811,224 株	26年3月期	1,803,682 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	49,621,918 株	26年3月期2Q	49,629,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策の効果により企業収益や雇用情勢の改善などがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外経済の下振れによる影響などが懸念され、先行きに不透明感が残る状況となっております。

このような状況の下、当社グループは国内外市場における新規顧客の開拓や既存顧客との関係強化などを積極的に推進し、販売の拡大に努めるとともに、事業全般にわたる効率化、合理化に取り組みました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、化粧品向けの微粒子酸化チタンや医療用向けのエレクトロ・セラミックス製品等の機能性製品の販売が好調に推移したことなどにより、売上高は180億4百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は19億3千8百万円（前年同期比39.5%増）、経常利益は20億3百万円（前年同期比41.0%増）、四半期純利益は12億9千7百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の9ページ「セグメント情報」をご参照ください）

#### 酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受け、また輸出もアジア市場での需要低迷により、国内・輸出ともに販売数量は減少、売上高も前期を下回りました。

機能性用途の表面処理製品は、夏場の天候不順の影響により化粧品向けの販売数量が減少、売上高は前期を下回りました。一方、微粒子酸化チタンは新興国向けの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は96億6千6百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

#### その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤等日用品向けが好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

タイの連結子会社は、タイ国内の政情不安の影響を受け、売上高は前期を下回りました。

硫酸、無公害防錆顔料は需要低迷により、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

導電性高分子薬剤は、コンデンサ向けの販売が回復し、売上高は前期を上回りました。

倉庫業は荷扱量が増加したことにより、売上高は前期を上回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は、医療用向けの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は83億3千8百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、447億6千万円（前連結会計年度末比21億2千6百万円増加）となりました。増減の主なものは、現金及び預金が6億8千8百万円増加、投資有価証券が7億2千万円増加したものであります。

負債合計は、134億3千1百万円（前連結会計年度末比9億2千7百万円増加）となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金が3億2千1百万円増加、退職給付に係る負債が3億5千5百万円増加したものであります。

純資産合計は、313億2千9百万円（前連結会計年度末比11億9千8百万円増加）となりました。増減の主なものは、利益剰余金が7億3千7百万円増加、その他有価証券評価差額金が4億9千万円増加したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが21億5千万円の収入（前年同期比22億4百万円収入額の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益19億4千1百万円、減価償却費8億5千5百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億9千5百万円の支出（前年同期比1億5千4百万円支出額の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7億5千7百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億5千万円の支出（前年同期比5億2千1百万円支出額の減少）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入7億円、長期借入金の返済による支出11億3千9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年8月7日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が407百万円増加し、利益剰余金が262百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,623	6,311
受取手形及び売掛金	10,268	10,210
商品及び製品	4,997	6,099
仕掛品	606	406
原材料及び貯蔵品	3,061	2,766
その他	485	487
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,041	26,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,887	3,759
機械装置及び運搬具(純額)	3,976	3,681
その他(純額)	1,919	2,547
有形固定資産合計	9,783	9,988
無形固定資産	85	66
投資その他の資産		
投資有価証券	6,933	7,654
その他	813	793
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	7,723	8,424
固定資産合計	17,592	18,480
資産合計	42,634	44,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,610	3,932
短期借入金	1,953	1,081
未払法人税等	412	653
賞与引当金	298	311
その他	1,917	2,165
流動負債合計	8,193	8,143
固定負債		
長期借入金	936	1,441
環境対策引当金	137	134
退職給付に係る負債	2,590	2,946
その他	645	766
固定負債合計	4,309	5,287
負債合計	12,503	13,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	11,162	11,900
自己株式	△542	△545
株主資本合計	27,243	27,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,797	3,288
為替換算調整勘定	64	17
退職給付に係る調整累計額	△115	△103
その他の包括利益累計額合計	2,746	3,201
少数株主持分	141	150
純資産合計	30,131	31,329
負債純資産合計	42,634	44,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,103	18,004
売上原価	14,369	13,658
売上総利益	3,734	4,345
販売費及び一般管理費	2,344	2,406
営業利益	1,389	1,938
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	65	73
その他	12	26
営業外収益合計	79	102
営業外費用		
支払利息	41	27
その他	6	9
営業外費用合計	47	37
経常利益	1,421	2,003
特別損失		
固定資産除却損	54	36
出資金評価損	—	25
特別損失合計	54	62
税金等調整前四半期純利益	1,366	1,941
法人税、住民税及び事業税	425	637
法人税等調整額	16	△7
法人税等合計	441	630
少数株主損益調整前四半期純利益	924	1,311
少数株主利益	20	13
四半期純利益	903	1,297



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	924	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	490
為替換算調整勘定	95	△51
退職給付に係る調整額	—	11
その他の包括利益合計	779	450
四半期包括利益	1,703	1,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,669	1,752
少数株主に係る四半期包括利益	34	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,366	1,941
減価償却費	920	855
受取利息及び受取配当金	△67	△75
支払利息	41	27
売上債権の増減額 (△は増加)	914	45
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,299	△617
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64	339
その他	215	△42
小計	4,625	2,474
利息及び配当金の受取額	67	75
利息の支払額	△45	△27
法人税等の支払額	△292	△371
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,354	2,150
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△851	△757
投資有価証券の取得による支出	△56	△6
その他	△42	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△949	△795
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△26	93
長期借入れによる収入	—	700
長期借入金の返済による支出	△845	△1,139
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△296	△296
少数株主への配当金の支払額	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,172	△650
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,251	688
現金及び現金同等物の期首残高	3,229	5,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,480	6,232

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,170	7,933	18,103	—	18,103
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	240	240	(240)	—
計	10,170	8,174	18,344	(240)	18,103
セグメント利益	916	467	1,383	5	1,389

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,666	8,338	18,004	—	18,004
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	229	229	(229)	—
計	9,666	8,568	18,234	(229)	18,004
セグメント利益	1,135	798	1,933	5	1,938

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。